

宮私幼 だより vol.148



蒲町こども園

巻頭言

秋らしい天候になりました。運動会の季節でもあります。十分に外遊びを楽しんでほしいと思います。

さて、夏休み期間中に地区ごとの園長会を開催させていただきました。保育料の無償化、処遇改善と教員の研修、認定こども園への移行等が話題となり、これまでにない充実した園長会となりました。保育料の無償化については、文科省も検討中ということでまだまだ時間がかかりそうです。引き続き情報収集を行い、開示してまいります。

挨拶が遅れましたが、平成30年5月に役員改選があり、理事長に再任されました。平成12年9月に就任、以来18年間、さまざまな活動に取り組んでまいりました。なかでも平成23年3月11日の大震災は忘れることができません。全国の私立幼稚園関係者の支援に改めて御礼を申し上げます。

18年前の宮私幼だよりを見ますと、「幼保の一元化」、「公私格差の是正」、「3歳児の就園」が課題となっていました。現在の課題に置き換えると、「認定こども園への移行」、「保育料の無償化」、「2歳児の就園」と読み替えたにすぎません。団体長として力不足を感じております。

残された期間、振興対策と教職員の資質向上に全力を尽くしますので、ご理解とご指導をお願い申し上げます。





Close-up 理事会

平成30年度宮私幼理事会の概要（4月～9月）

【平成30年度第1回理事会】

日 時 平成30年5月18日(金) 午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

- (1) 「ろりぼっぴ 赤い屋根の保育園」の入会及び退職手当資金給付事業への加入申込みについて
- (2) 「ナザレト愛児園」の入会及び退職手当資金給付事業への加入申込みについて
- (3) 「幼稚園型認定こども園なとり第二幼稚園・なとり第二保育園」の入会及び退職手当資金給付事業への加入申込みについて
(1)～(2)は承認され、(3)は県の認可を待って承認することになった。
- (4) 平成30年度第1回定時総会の議案について
第1号議案 平成29年度事業報告について
第2号議案 平成29年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告並びに監査報告について
第3号議案 役員改選について

報告事項

- (1) 「東日本大震災義援金」の状況について
- (2) 第32回東北地区教員研修大会〈宮城大会〉会計収支決算報告について
- (3) 教育実習のガイドラインについて
- (4) 研修シールの発行について

【平成30年度第2回理事会】（第1回総会時）

日 時 平成30年5月31日(木) 午後3時30分～

場 所 仙台市戦災復興記念館第3会議室

議 事

- (1) 平成30年度第1回定時総会で新役員が選任され、承認されたので、これを受け、定款第23条第2項による平成30年度・平成31年度の理事長、副理事長、常任理事(委員長)の選定

【平成30年度第3回理事会】（第1回総会終了後）

日 時 第2回と同日午後4時30分～

場 所 仙台市戦災復興記念館5階会議室

議 事

- (1) 総会の承認を受け、委員会の担当について

【平成30年度第4回理事会】

日 時 平成30年6月8日(金) 午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

- (1) 平成30年度の新体制について

○役員分担の確認【理事長・副理事長・常任理事・委員会・地区会】

○経営委員会協力委員について

○研究委員会協力委員について

(2) 平成30年度宮私幼教育振興大会・第47回宮私幼PTA研修大会について

○平成30年6月15日(金)

会場：東京エレクトロンホール宮城

○第1部 振興大会 10:30～11:10

○第2部 研修大会 11:15～12:20

・講演 「発達に伴う個育てコーチング」

・講師 西城あや先生

(3) 養成校との懇談会について

○平成30年7月3日(火)

会場：仙台ガーデンパレス

(4) 地区別設置者・園長会議について

○8月3日(金)～24(金)まで開催

(5) 地区運営費・地区研修費・実技講習会費について

(6) 研修シールについて

(7) 免許状更新講習について

【平成30年度第5回理事会】

日 時 平成30年7月13日(金) 午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

(1) 地区別設置者・園長会議について

・ 日程と出席者の確認

・ 協議事項の確認

(2) 幼児教育無償化について……………【経営委員会】

(3) 平成31年度初任給並びに保育料について

……………【経営委員会】

(4) 処遇改善について……………【総務・給付委員会】

(5) 平成31年度園児募集について……………【経営委員会】

(6) 養成校との懇談会の報告について【経営委員会】

(7) 研修シールについて……………【研究委員会】

(8) その他

【平成30年度第6回理事会】

日 時 平成30年8月31日(金) 午後2時～

場 所 宮私幼会議室

議 事

(1) 地区別設置者・園長会議の反省

(2) 4～8月の事業報告

各委員会から報告があった。

(3) 幼児教育無償化についての統一したパンフレットを作成し、各園に配布した。

事 務 局 だ よ り

○関係機関団体

- 5/17 仙私幼総会（旭ヶ丘市民センター）
- 5/24 仙私幼PTA連合会総会（仙台市民会館）
- 6/8 宮私幼PTA連合会総会（東京エレクトロンホール宮城）
- 7/3 幼稚園等新規採用教員研修、幼稚園中堅教諭等資質向上研修（県総合教育センター）
- 8/1 幼稚園教育課程宮城県研究協議会（宮城県行政庁舎）、県新任研（県総合教育センター）
- 8/2 県中堅研（県総合教育センター）
- 8/20 県新任研、県中堅研（県総合教育センター）
- 8/29 私学審議会（宮城県庁）
- 9/26 仙私幼教育振興大会・PTA研修大会（イズミティ21）

○全日私幼連

- 4/6 東北地区会監査会（宮城）
- 4/17 研修シール発行方法の説明会（東京）
- 4/24 常任理事会（東京）
- 5/8 理事会（東京）
- 5/14 認定こども園研修会（東京）
- 5/23 定時総会（東京）
- 6/22 第26回東北地区私立幼稚園設置者・園長研修会
（山形大会）
- 6/23 第1回東北地区会（山形）
- 7/3～4 ECEQコーディネーター養成講座（東京）
- 7/28～29 免許状更新講習＜必修・選択必修＞
（福祉大東口キャンパス）
- 8/10 免許状更新講習＜選択＞（福祉大東口キャンパス）
- 8/11 免許状更新講習＜選択＞（福祉大東口キャンパス）
- 8/17～18 幼児教育実践学会（東京）
- 9/19 102条園研究会議（東京）
- 9/25 都道府県政策担当者会議（東京）



○宮私幼のあゆみ

- 4/24 研究委員会
- 4/25 総務・給付委員会
- 5/8 研究委員会
- 5/15 常任理事会、総務・給付委員会合同会議、推薦委員会
- 5/17 監査会
- 5/18 理事会、総務・給付委員会
- 5/31 定時総会（仙台市戦災復興記念館）、理事会
- 6/8 常任理事会、理事会
- 6/13 総務・給付委員会、研究委員会、地区研修担当者連絡会
- 6/15 教育振興大会・PTA研修大会（東京エレクトロンホール宮城）
- 6/28 経営委員会
- 7/2 研究委員会、教育研究発表大会分科会発表園打合せ会
- 7/3 養成校との懇談会（仙台ガーデンパレス）
- 7/11 総務・給付委員会
- 7/13 理事会
- 7/24 経営委員会
- 7/25 総務・給付委員会
- 7/26・27 新任教員研修会（東京エレクトロンホール宮城）
- 7/30 未満児保育研修会（東京エレクトロンホール宮城）
- 8/1 園長・リーダー研修会（東京エレクトロンホール宮城）
- 8/3 名取・岩沼地区設置者・園長会議（岩沼南こぼと幼稚園）
- 8/6 主任者研修会（東京エレクトロンホール宮城）
- 8/9 仙台地区設置者・園長会議（旭ヶ丘市民センター）
- 8/10 10年経験者研修会（福祉大東口キャンパス）
” 塩釜地区設置者・園長会議（割烹開山）
- 8/21 気仙沼・登米地区設置者・園長会議（南三陸ホテル観洋）
- 8/22 大崎地区設置者・園長会議（グランド平成）
- 8/23 仙南地区設置者・園長会議（たんぼぼ幼稚園）
- 8/24 石巻地区設置者・園長会議（ひばり幼稚園）
- 8/29 総務・給付委員会
- 8/30 研究委員会
- 8/31 理事会
- 9/11 総務・給付委員会
- 9/12 研究委員会
- 9/26 広報委員会

○慶 弔

- 5/28 庄子 吉郎 氏（愛子幼稚園 設置者）ご逝去
- 8/23 静田 一 氏（太陽幼稚園 設置者・園長）ご逝去

平成30年度 第1回定時総会

平成30年5月31日(木) 会場：戦災復興記念館 5階会議室 (出席者：104名・委任状提出者：50名)

総会に先立ち、5月に逝去された愛子幼稚園設置者・庄子吉郎先生に黙祷を捧げました。

村山理事長挨拶(要旨)

遅れていた幼児教育振興法が、次期の国会で審議されることになったので、見守りたい。2歳児を受け入れている園がいくつかあるが、法改正により二学期から日本スポーツ振興センターに加入できるようになります。



表彰状贈呈

永年にわたり私立幼稚園振興と発展に貢献された3名の先生に表彰状、東日本大震災時に尽力された石巻みづほ幼稚園前園長津田廣明先生と昨年度の東北地区教研大会において、会場を提供し公開保育を行った塩釜・多賀城地区の10園に感謝状が贈られました。また、永年勤続表彰では、受賞者を代表して、聖ウルスラ学院英智幼稚園の尾形美光先生が「自分の出身園に勤務しているが、家庭に入って子育てが落ち着き、再び勤務でき、癒しとなり過ぎてきました。園や保護者の支えと家族の理解と協力に感謝します。」と、謝辞を述べられました。



来賓祝辞(要旨)

〇県私学・公益法人課 新妻直樹課長

今年度から課の名称が変わりました。平成27年から、子ども子育て支援新制度により、市町村と連携しながら、安心して学べる環境作りを行ってきました。また、29年度は、教員の処遇改善を実施しました。

〇宮私幼PTA連合会 佐々木幸士会長

永年にわたり、幼児教育に関わってこられた先生方に感謝申し上げます。子どもの成長と共に親も成長するので、保護者の責任を再確認したいと思います。



また、私学助成が2,000円アップしたので、これからも声をあげていきます。

行政報告

県私学・公益法人課学事班後藤正寛主査から、今年5月10日に改正された一時預かり事業と、私立幼稚園の学校安全対策の状況について、資料に基づき説明がありました。

議事

議長に白梅幼稚園の高橋潤先生と東二番丁幼稚園の加藤正範先生が選任され、議事録署名人として八木山カトリック幼稚園の小澤葉子先生と中新田幼稚園・なかよしこども園の岩岡明子先生が選任されました。議事は議案書に基づいて進行され、第1号議案平成29年度事業報告、第2号議案平成29年度一般会計・退職手当資金給付事業特別会計決算報告について審議されました。これに対して「免許状更新講習の収支がほぼ同額なのは、どのような理由か？」との質問があり、執行部より説明がなされ、他に質問がなく承認されました。第3号議案役員改選は、出席者(委任状を含む)の投票により、執行部原案通り承認され、別室で理事会が開催されその結果、村山十五理事長・鎌田文恵副理事長・根來興宣副理事長・各役員が選出され、総会にて異議なく承認されました。



報告事項(各委員会より)

- (1) 「東日本大震災義援金」の状況について
- (2) 第32回東北地区教研大会〈宮城大会〉会計収支決算報告について
- (3) 教育実習のガイドラインについて
- (4) 研修シールの発行について

最後に、鎌田文恵副理事長より、「長時間にわたったの審議、お疲れ様でした。厳しい情勢が続きますが、子どものより良い環境を作っていきましょう。」との閉会のことばで、議事の一切を終了しました。

(小川 せつ子)



平成30年度宮城県私立幼稚園・認定こども園教育振興大会 第47回宮城県私立幼稚園・認定こども園PTA研修大会

大会スローガン：「次代を担う子どものために」
平成30年6月15日(金) 会場：東京エレクトロンホール宮城

<第1部 振興大会>

スローガン 「次代を担う子どものために」

鎌田文恵宮私幼副理事長の「少子化に伴い、幼稚園を取り巻く環境は厳しいが、より良い環境になることを祈って大会を行います。」との言葉で開会しました。

初めに、村山十五宮私幼理事長から「子どもを取り巻く環境が変わりつつあります。夏休みに認定こども園は、毎日登園する園児とそうでない園児の二つに分かれるので、配慮が必要です。また、2歳児受け入れは、待機児童の受け皿として期待されています。」との挨拶がありました。次に、佐々木幸士宮私幼PTA連合会会長が「県内各地からの参加に感謝いたします。いよいよ幼児教育無償化が実現の運びとなり、3～5歳児、上限307,000円が支給されることとなります。」と挨拶されました。



来賓として、県知事代理の佐野好昭副知事が、「震災後の私学の復旧率は98%です。幼児期は、人間形成の基礎を築く時代です。<学ぶ土台作り>で、大きな夢と志を持ち、進んでいけるように教育環境を整えていきます。また、子ども子育て支援新制度は、3年目となり着実に増加しており、さらなる充実を願っております。」との話があり、次に、宮城県議会議長代理の只野九十九副議長が



「健やかな成長に多大な貢献に感謝いたします。幼児期は、その後の生き方に大きく影響するので、社会全体で支えていきます。」とお祝いの言葉を述べられ、来賓紹介・祝電が披露されました。

最後に、清野英俊宮私幼理事と笠原由佳宮私幼PTA連合会副会長により、大会宣言が読み上げられ、根来興宜宮私幼副理事長の「家庭と幼稚園と行政が三位一体となって、力を合わせましょう。」との言葉で閉会しました。



大会宣言

私たちは、次代を担う子どもたちが心豊かな人間として成長することを願い、子どもたちにとっての最善の利益を実現するため、家庭教育の向上、幼児教育の振興を図ることを目的として、子どもたちがはじめて出会う学校である私立幼稚園・認定こども園と手を携え、常に努力することを宣言します。

- 一、子どもたちの教育の原点が、家庭にあることを再認識し、家族が協力し合って絆を深め、家庭が子どもにとって最も安心でき、共に学び合える場になるよう努めます。
- 一、私立幼稚園・認定こども園への公的助成、特に保護者の経済的負担を軽減するための運営費補助金の増額及び教職員の処遇改善、並びに幼児教育無償化の早期実現を求めます。
- 一、東日本大震災により被災した方々の一日も早い復興・再生を願いつつ、地域の人々との絆を深め、安心して暮らすことのできる地域社会づくりの支援に努めます。

＜第2部 研修大会＞

講演「発達に伴う個育てコーチング」

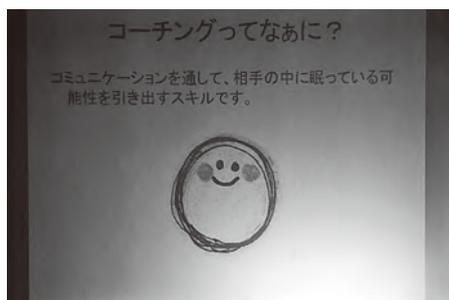
講師 西城 あや 氏

(一般社団法人 個育てコーチング協会 代表理事)

我が子の子育てと、26年間ピアノ教室で500名以上の子どもたちとのレッスンを通し、コミュニケーションの大切さを実感し、より多くの方が自分自身と周りの人とのコミュニケーションを大切に、笑顔で人生を楽しんでほしいとの思いから、個育てコーチング講座を立ち上げました。コーチングとは、シンプルなコミュニケーションです。



大切なことは、個性を大切に、個性を育てることです。自分自身の可能性を信じることです。「どうして〇〇なのかな？」の？が！に変わります。どこへ向かっているのか、「子育てのゴール」を意識しましょう。どこを目指しているのかが分からないと頑張る力が出ません。ここまで頑張ればできると思うことが大切です。子育てで目指すゴールは、①自由（自分で考え、自分で行動し、自分で生きていく力）と②自律（社会のルールの中で、周りの人と調和しながら生きていく力、自分らしく自分を好きと言える生き方）で、根ざして欲しい力は、自己肯定感です。小学校低学年まで一日80回の指示命令を受けている現状では、子どもの自立につながりません。生まれる時には、両親が好きというDNAが組み込まれています。両親は、自分自身のことを大切に思っていることを子どもに伝えることが大切です。何ができなくても生きていくことだけで価値があります。自己肯定感がもたらす力は、自分に自信を持って行動する、自分で考えて自分で決める、他人と比べて



落ちこまない、まずはやってみようという前向きな姿勢、失敗から切り替える力、

自分のことを好きだと言える、相手と自分との違いを認められるということです。

コーチングとは？……コミュニケーションを通して相手の中に眠っている可能性を引き出す力です。コーチングの基本三本柱は、①相手の話をしっかり聴く②相手を認める③相手に質問する（「あっ、そうだ」と気づけるように）です。

＜聞く＞と＜聴く＞は、意味が違います。

＜聞く＞は、たまたま聞こえること。＜聴く＞は、耳の中に十個の目と口との字のとおりです。

傾聴＜あいうえお＞は、あい：アイコンタクト、う：うなずき（反応）、え：笑顔、お：オウム返しです。発した言葉で怒られない、くり返すことにより、冷静にふり返り、考えます。

身体を動かし、土台を作る発達ピラミッド（原始反射の統合）は、五感（視覚、聴覚、味覚、嗅覚、触覚）の上に、動き、その上に言葉、さらに学習が連なり、一番上にコミュニケーションがあります。



子どもたちの発達を促す遊びや好きな遊びに大人が本気で付き合ひましょう。子どもたちの遊びには、全て意味があります。全てが生きていく上で、必要な学びです。それは、これからの学習能力へと繋がります。身体を中心軸を鍛える遊び、例えば、バランスボールや綱引き等です。

我が子が生まれてから自立するまで20年としたら、その日数7,300日は心を育てる日数です。お父さん、お母さん、そして先生方へ「目の前の我が子に、目の前の生徒たちに、心の中で、信・認・任と唱えてください。」と締めくくられました。

(小川 せつ子)



新園長紹介

双葉幼稚園

園長 安倍啓司

この4月から双葉幼稚園の園長に就任しました。3月まで仙台市立小学校に勤務しておりましたので、幼児教育、幼稚園教育経営は分からないことだらけです。宮私幼の先輩園長先生方からご指導いただきながら、子どもたちの健やかな成長を第一の目標に掲げ、微力ながら力を尽くしてまいりたいと考えております。どうぞよろしくお願い致します。



“子どもたちがいて私たち教師がいる”若い頃、先輩から教わった言葉です。この順番を間違えることなく、まず「子どもたちにとってどうなのか」を判断基準に据えて、幼稚園がよりよい学びの場、よりよい育ちの場となるよう、教職員一丸となって進んでまいりたいと思っています。そのためには、先生方が安心して子どもたちに寄り添い、保育活動に専念できる環境をどう作ってあげられるかが重要です。園長という職責の重さを実感しております。保育の最前線で、日々子どもたちに向き合っている先生方は園の宝です。保育の質は、先生方の質とイコールです。本園には若い先生方を鍛え、育てる体制とチームとして連携し合う風土があります。園長としてうれしい職場です。前任の関谷園長先生が残して下さったすばらしい財産です。先生方が保育に喜びと働きがいを感じられる職場環境をこれからも大切にしていきたいと考えております。幼稚園は集団活動の場です。

「やっぱりみんなといるときが一番楽しいな。幼稚園大好き。」という子どもたちの声がたくさん聞かれる幼稚園でありたいと願っております。皆様どうぞよろしくお願い致します。

石巻みづほ幼稚園

園長 佐藤順子

今年度4月より津田園長の後任として学校法人亀山学園石巻みづほ幼稚園園長に就任致しました佐藤順子と申します。一昨年まで姉



妹園石巻みづほ第二幼稚園の教頭として勤務してまいりましたが、第二幼稚園の休園と同時に退職し、1年後再び幼稚園の現場に復帰致しました。1年ぶりの幼稚園は、子どもたちの笑い声があちらこちらから飛び交い、再びワクワクドキドキの毎日でもありますと共に責務の重さを感じ身の引き締まる思いで毎日を過ごしているところです。

子どもたちにとって幼稚園は、ご両親から離れて初めて経験する社会です。私たち教師は子どもたちの気持ちに寄り添い、一人ひとりが共に成長できるよう家庭と協力しながら丁寧に関わり、一人ひとりの個性を伸ばし自らの生きる力、成長する力を育てていくことが目標であると感じています。

そして、3月より工事していました職員室と保育室2部屋が6月末に完成となりました。明るく広い職員室では保育終了後には全職員が集まり、お茶をしながら日々の反省やこれからの保育についての話し合いが行われています。

1年後、どのような成果がみられるか一抹の不安もありますが楽しみでもあります。どうぞ宜しくお願い致します。

養成校との懇談会

日時：平成30年7月3日

会場：仙台ガーデンパレス

県内及び近県の養成校合わせて12校に参加いただき、「平成30年度養成校との懇談会」を開催しました。はじめに村山十五理事長よりあいさつがあり、従来の懇談会では学生の就職先が幼稚園・保育園・一般企業でどのくらいの割合だったかという話題が中心



であった。近年は学生が幼稚園の採用試験を受験してくれない現状に対して、どのように打開するかが議題になってきており、その根本的な問題に対して意見交換を行い、ご指導をいただきたいとお話がありました。

その後、各養成校の自己紹介があり、議題に入りました。宮私幼として幼稚園を取り巻く採用事情を「ようちえん白書」ならびに「幼稚園等見学の案内」の紹介を交え、説明がなされました。小野寺靖子研究委員長より、実習生を取り巻く環境が受け入れた幼稚園によりまちまちなので、実習



生が戸惑うケースが見受けられることから有志の主任クラスの先生方と協議を行い、現状や課題を整理したことが報告されました。実習は楽しく、かつ実りある学びにも繋げるという基本方針の下、園と学生での事前打ち合わせで入念に意思疎通を図り、不安を解消することも必要であり、最低限出退勤時間の厳守や担任の先生の事前開示にも努めていくこととお話されました。養成校の取り組みと課題としては、東北



生活文化大学短期大学部の三浦主博教授より報告があり、昨年学生向けの教育

実習の取り組み基準を改定し、幼・保ともに似たような基準にしてまとめ直し



を行ったとのことでした。また、各校が学生の授業と実習と研修と就職を包括的に連携して強化していることも報告がありました。

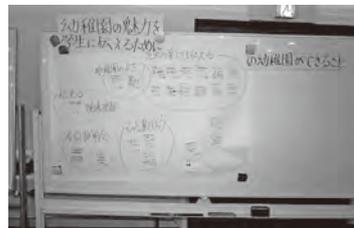
このような昨今の状況を踏まえ、課題解決のためのファシリテート（KJ法ワーキング）では、

①教育実習を通してつけてほしい力、感じてほしい思い、②幼稚園の魅力伝えるために、幼稚園ができること、養成校ができることというテーマで様々な意見交換がなされました。そこでは、教育実習を通して

コミュニケーション力をつけてほしい、幼稚園教諭の仕事の



素晴らしさを感じてほしいといった意見や幼稚園の魅力伝えるために雰囲気の良いさをアピールする機会を作りたい、幼稚園現場にボランティア等で行ける機会を多く持ちたいといった前向きな意見が多数寄せられました。まとめとして、幼児教育を支えている幼稚園がこれからも輝き続けるために幼稚園・養成校が協力をして優秀な人材を育て、日本の未来を明るくものにしたというお話が佐藤洋研究委員よりありました。



閉会のあいさつとして鎌田文恵副理事長より幼稚園・保育園の職員の処遇格差を解消するために宮私幼として、引き続き関係各方面に働きかけて、優秀な人材の確保に道筋をつけていきたいとお話があり、養成校との懇談会が終了となりました。

(高橋 潤)

幼稚園訪問記

幼な子とともに

学校法人七郷学園 蒲町こども園

〒984-0037

仙台市若林区蒲町 42-10

園児数 198名/ 9クラス 教職員33名

(1歳児6名、2歳児12名、3歳児62名、4歳児58名、5歳児60名)

※平成30年5月1日現在

蒲町こども園 を訪問しました!!

近年、大震災からの復興や仙台地下鉄東西線の開業に伴う再開発で発展を続ける仙台市若林区蒲町近郊エリア。その一角に昨年蒲町幼稚園が蒲町こども園として、新築移転しました。ここ1・2年で近隣の住宅地が急ピッチで整備され、若い夫婦の定住が加速する中、認定こども園としてスタートした蒲町こども園。今回は、その蒲町こども園 伊藤茂園長先生にお話を伺ってきました。

1.教育目標

○明るく元気な子ども

(基本的生活習慣、安全と健康、運動と体力)

○思いやりのある子ども

(他者の理解と協力、自信と信頼、規範)

○よく考えて行動する子ども

(思考力、言葉と対話、表現)



2.特色

「うきうきタイム(3～5歳児)」「わくわくタイム(1・2歳児)」と称し、「自分で選び」「共に考え」「繰り返して挑戦する」あそびを実践しています。子ども達が「面白い」「やってみよう」と思える心を動かされるような教育・保育を目指しています。



「面白」「やってみよう」と思える心を動かされるような教育・保育を目指しています。

3.新制度に移行して

平成29年度に幼稚園からこども園に移行し、保護者の多様化した教育・保育の需要への対応や長期休業中の保育の工夫が必要となりました。



また、親子での集いや子育ての相談ができる場を提供する地域における子育て支援の役割もさらに大きくなりました。

4.特に力を入れている教育

あそびを通しての総合的な学びとして、子ども達自身が科学や造形、木工や運動などの10のエリア(40コーナー)から自己選択し、工夫したり挑戦したりしながらじっくりとあそべる環境を整えています。



5.保育時間

- 1号認定 9時～14時
- 2号認定 平日：7時15分～19時15分
土曜日：7時15分～18時15分
- 3号認定 平日：7時15分～19時15分
土曜日：7時15分～18時15分

6.預かり保育

- 1号認定 平日：7時15分～8時45分、
14時～19時15分
土曜日：2号認定児と同様

7.給食

- 完全給食
- 1・2歳児 自園調理
- 3～5歳児 外部委託

8.未就園児教室

- 子育て支援活動(登録制 月・水・金曜日)
- 子育て支援講座、広場(金曜日)
- 育児相談(要予約 第2・4水曜日)
- 園開放(支援活動登録者のみ)

9.バス送迎

- 2台のバスで送迎しています。

(高橋 潤)

